

国の教育ローン利用上限が拡大 でも、老後資金も熟考して利用

今回の
数字

350万円

知らなきや損する

今回は、教育資金が不足した時に利用できる「奨学金」と「教育ローン」についてご紹介いたします。

奨学金は、能力のある学生に対し援助を行う制度で、国の奨学金以外にも、各大学の奨学金や、地方自治体の奨学金などがあります。奨学金には「給付型」と「貸与型」があり、「給付型」は返還する必要がなく、将来、社会に寄与できる人材と判断された学生に対して給付されるものです。

一方、「貸与型」は返還する義務があり、利息の返済がない「無利息タイプ」と利息の返済がある「有利息タイプ」があります。奨学金は学校の成績などの基準が設けられており、有利息より無利息の方が基準が厳しくなっています。

奨学金の中で、一般的に多くの学生が利用しているのが、「貸与型」の「国の奨学金制度（日本学生支援機構の奨学金）」です。対象は、大学・短期大学・高等専門学校・専修学校（専門課程）および大学院で学ぶ学生です。奨学金は学生自身が自立して学ぶことを支援するために、学生本人に貸与し、卒業後、学生本人が返還していくことになります。また、給付型と違って返還する必要があるため、軽い気持ちで申し込みをせず、有効かつ計画的に利用することが重要です。なお、卒業後に返還されるお金は、次の世代の奨学金として使われます。

申し込みは、在学する学校を通じ、入学前や入学後、緊急の申し込みも行えます。もし入学前の申し込みが不採用でも、入学後に再度申し込むこともできます。

奨学金は入学後の貸し付けになるため、受験料や入学金にあてることができません。そこで、入学前に利用できるのが教育ローンです。図表は日本学生支援機構の奨学金と一般的な教育ローンを比較したものです。教育ローンには、民間金融機関の教育ローンや「国の教育ローン（日本政策金融

	奨学金（日本学生支援機構）	一般的な教育ローン
申し込み人	学生本人	学生の保護者等
基準	保護者の収入等が一定額以下であること。また学生の学業成績等が審査される	借り入れをする保護者等の収入が一定額以上であること
貸付時期	在学期間中、毎月定額を貸与。貸与中は学修状況を確認、成績不振者には、注意喚起や貸与停止もある	入学前でも契約が成立すればすぐ、一括で借りられる
利息	第一種奨学金は無利息、第二種奨学金は、在学中は無利息で卒業後に利息が発生する	貸付と同時に利息が発生する

公庫の教育一般貸付）」があります。利息は国の教育ローンの方が低いようですが、手続きは民間金融機関の方が簡素化されています。

国の教育ローンの特徴は、固定金利で最長15年の長期返済が可能なこと。また在学中は利息のみの返済も可能で、利用限度額は昨年50万円拡大され、子ども一人あたり350万円までとなりました。利用するには、子どもの人数による世帯年収（所得）の条件などがあります。申し込みは日本政策金融公庫で行い、ネットでの申し込みもできます。

貸与型の奨学金も教育ローンも借り入れなので返済しなければならない点は共通です。教育ローンは保護者が返済していくわけですから、保護者自身の老後資金のことなども考慮して利用する必要があります。

また、奨学金と教育ローンは「併用」できるので、入学前に必要な学費は教育ローンを利用し、入学後は無利息ないし低利息の奨学金を月々積み立てておいて授業料その他に充てるという利用も可能です。

本来は、利用せず教育資金を乗り切りたいところですが、借りられる仕組みがあることを知っておくと、教育の選択肢を広げることができます。

暮らしのマネープラン相談センター 所長
サードファイナンシャルプランナー



高橋 昌子

あなたの暮らしと財産を守るパートナー

■時間相談 …… 1時間まで3000円 2時間まで5000円

教育資金・老後資金・相続・住宅ローン・保険の見直しや商品選択、確定拠出年金など何でも相談できます

■マイホーム資金・住宅ローン相談 …………… 3万円

無理のない予算額、頭金や購入時期、最適な住宅ローン・生命保険・火災保険など、マイホーム購入にまつわるマネープランについて何でも、マイホーム購入まで時間を気にせず相談できます

■退職資金・マネープラン相談 …………… 3万円

退職後の手続き、年金や保険、退職資金計画など退職後の生活設計について何でも、時間を気にせず相談できます



暮らしのマネープラン相談センター 金沢市此花町3-2 [ライブ1ビル1F]

要予約

(株)FPサポート研究所 <http://www.fpsl.co.jp/> ☎076-232-2038 ●平日/10:00~19:00 ●土日/10:00~17:00